

令和3年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	府中町立府中緑ヶ丘中学校	校長	中坊京子	生徒指導主事	河本春彦
-----	--------------	----	------	--------	------

取組事例名 『人間関係づくりトレーニング (SST)』


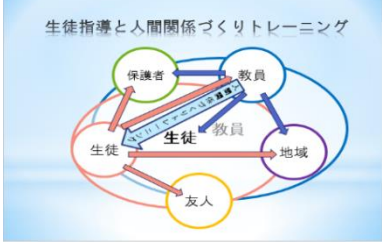

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
聞く力・正確に伝える力	1	耐える力	3	自らの自信	2

取組のねらい

・自他を認め高め合う集団の育成のために「人間関係づくりトレーニング」を教育活動の中に位置づけ、学級活動の時間に実施し、この取組を通して生徒のコミュニケーション能力を始め、人間関係を円滑に築く力の向上と、教員自身の指導力とコミュニケーション能力のスキルアップも寄与することをねらいとし、結果として積極的な生徒指導と不登校の未然防止につなげていくことを取組のねらいとしている。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『キーワード：より良い集団づくり』
----------	------------------------------

<p>(1) 生徒指導と人間関係づくりトレーニング</p> <p>(2) デジタル黒板を用いた授業風景</p>  <p>(4) SST 振り返りシート</p>  <p>(6) SEL-8S 学習プログラム測定グラフ</p> 	<p>生徒指導と人間関係づくりトレーニング</p>  <p>(3) ロールプレイ授業風景</p>  <p>(5) SST カード, SST 通信やポスター</p> 	<p>(1) 生徒指導と人間関係づくりトレーニング：生徒、教員、保護者、友人、地域相互の人間関係の構築</p> <p>(2) デジタル黒板を用いた授業 3年生の携帯電話やSNSについて班での話し合い</p> <p>(3) ロールプレイやジャムボードを使ってアイデアを出していった。</p> <p>(4) 年間の取組を通しての SST 振り返りシート</p> <p>(5) SST カードの作成, SST ポスターや SST 通信による共有 また、1年間の振り返りシートを見ながら自己の変化を確認できた。</p> <p>(6) SEL-8S 学習プログラムでねらいとしている8つの能力の測定で破線が1年次の平成27年度のもので平成29年度が赤の実線で書かれたもので、取組を進めて3年目の平成29年度は8項目において全体的にバランスが取れているのがわかる。 平成27年度：不登校34名、問題行動件数154件 令和2年度：不登校15名、問題行動件数72件</p>
--	--	--

取組の成果と課題

- (成果)
- SEL-8S 学習プログラムの8つの能力について生徒の自己評価を担当が把握し、学級経営に生かすことができる。
 - 継続的な取組により、良好な人間関係を築いていくスキルが高まると考えられる。(生徒・教師)
 - 7年間取組を継続した結果、生徒指導における諸問題(いじめ・不登校・暴力行為等)が減少した。
- (課題)
- 学級活動にとどまらない関わり合いの場面の設定や生活の場面での活用を通して定着と汎化を促す。
 - 教師の継続的な意識化、言葉かけが必要。(教師側のスキルアップ)
 - 年間5回では少ない。校内で工夫し、年間の実施回数を増やす。(SHRなどでのミニ SST の活用など)